

## Kiko

ボン

## 気候ネットワーク

〒604-8124 京都府京都市中京区高倉通四条上ル高倉ビル305 Tel: 075-254-1011 / Fax: 075-254-1012

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3 半蔵門カドフィールド 2F Tel: 03-3263-9210 / Fax: 03-3263-9463

E-mail: kyoto@kiconet.org (京都) tokyo@kiconet.org (東京) URL: http://www.kiconet.org/

気候ネットワークは、地球温暖化対策に取り組む市民のためのネットワークです。

「Kiko」は、温暖化問題の国際交渉の状況を伝えるための会期内、会場からの通信です。

最終日：多くを次に  
積み残して閉幕へ

今回の会議は、議定書 AWG における先進国全体・個別の目標についての議論が大きな焦点だったが、前回の4月のボン会議で、これについて「結論を出す」としながら出せなかった議論を引き継いでいることを考えると、今回こそ先進国目標に合意すべきだったとも言える。しかし本音ベースで、ここで合意ができると思っていた人はほとんどいないだろう。先進国は断固、先進国の削減目標を先に決着すべきではないと譲らないからだ。その一方で途上国は今回、「歴史的排出責任」の指標で先進国全体の削減は2020年で79.2%とすべき(インド)など、むしろ溝は深まっている。平行線のままコペンハーゲンまで引きずってしまうのではないかとのおそろしさも聞かれる。

この、難しいパズルをどう解くか。今回はその明確な解は出なかった。また2つのAWGをいつ終了させてコペンハーゲンへつなげるかも結論が出なかった。

しかし、IPCCの科学に基づき、先進国が野心的な目標を設定すべきことに揺らぎはない。そしてそれが交渉の歯車を回し始めることも確かなことだ。その野心を大きく欠いた現状では途上国も歩み寄りようがない。政府代表団は自国に帰り、発表された中期目標では途上国の歩み寄りを期待できないと報告し、次のボンAWG会合(8/10~14)に臨むべきだ。

## 「得はしたいが損は避けたい」複雑化する吸収源・REDDのルール作り

今回、吸収源(LULUCF)を優先して議論するという方針が示され、いよいよ交渉テキストにおける吸収源のルール案の選択肢を絞り、ルールについての交渉に入れるのかと思っていた。しかし蓋を開けてみると選択肢の数は減るどころか逆に増え、ルール案はより複雑になってしまった。森林は吸収もすれば排出もする「生き物」。本来であれば自然の摂理に従い、吸収量を評価すると同時に排出量も適切に計上するルールが作られるべきである。しかしこれまでの先進国の提案を見ていると、「吸収」だけを評価し、「排出」はどうか計上対象から外そうとする思惑がみられ、それが議論を複雑にしているように思われる。

こうした「いいとこ取り」の吸収源の考え方が途上国における森林減少・劣化の防止による排出削減対策(REDD)の議論でも広がり始めている。パリ行動計画では、REDDに加えて、REDD+(プラス)と呼ばれる「森林保全」、「森林の持続的経営」、「森林の炭素ストックの強化」(すなわち吸収源活動)も対象になっているが、各国から提案は、伐採活動を行いつつ吸収量を獲得する方法などを含み、生物多様性の豊かな熱帯雨林の減少を防止するというそもそものREDDの目的がぼやけてきている。

今締約国が行うことは、吸収源については、選択肢数を絞り、本格交渉に入ること、そして「いいとこ取り」にならないような実際の吸収と排出を忠実に計上するルールを作ること、またREDDについては、森林減少を防止する目的に沿った議論をし、交渉テキストで不十分な生物多様性の保全と先住民や地域住民の権利を保障していくことに十分な議論の時間を割くことである。

一言コラム 政府代表団は「中期目標は真水です」という「真水」を、「Blue Clear Water」と紹介。意味通じた？

## 6カ月前ルールって？

今回、地味ながら重要だったのが6カ月前ルールへの対応だった。京都議定書(20・21条)には、「締約国は改正案を6カ月前に通報しなければならない」と定められており、気候変動枠組条約(17条)にも新しい議定書を提案する場合に同様の規定があるためだ。これまでに、条約AWGの下では、日本・ツバル・オース

トラリア・コスタリカが具体的な提案を行っており、議定書AWGでも、11日にEUが改正案を提出するなど終盤まで動きがみられている。コペンハーゲンで合意する完璧な改正案を提出することは現時点では無理だが、とりあえず何か通報しておくことで6ヶ月前ルールをクリアしようという試みが最後まで繰り返されていると言える。

Kiko AWGLCA6/AWGKP8通信 No.3

2009年6月12日発行

発行/編集 気候ネットワーク

平田仁子、江原誠